

虐待被害児診察技術研修

虐待・ネグレクトを受けたと疑われる子どもの系統的全身診察は、性器・肛門だけでなく、全身を診察できる技術を有し、子ども虐待・ネグレクト全般に関して研修を受けた医師が行う必要があります。

○なぜ、子ども虐待・ネグレクトについて知っている必要があるのでしょうか？

「性虐待被害を受けた子どもの性器・肛門は傷ついているはずだ」と誤解されがちですが、性虐待の特徴として、性器・肛門が傷ついていないことも多く、また、傷ついたとしても粘膜は治癒しやすいため、診察時に所見が見られないことが多いのです。だからといって、性被害がなかったというわけではありません。医師がこのような知識を持つことは、子どもたちの被害を見逃さないために大切であり、不安をいっぱい抱えている子どもに「あなたのからだはだいじょうぶ」と専門性を有する医師が伝えることで、子どもの心の負担を軽減してあげることができます。

○系統的全身診察とはどのようなものなのでしょうか？

系統的全身診察は、性器や肛門など性的な挿入が疑われる部分のみを診るものではありません。頭のてっぺんからつま先まで、身体のパーツ一つ一つを子どもに問診しながら診ていきます。そうすることによって、合併する他の虐待の評価ができますし、乳房や性器・肛門などプライベートな部分を診察される際の子どもの羞恥心や不安を低減することで、診察による二次被害を防ぐことができます。

受講料 前半講義のみ：3,300円税込

前半講義と後半講義及び実技：11,000円税込

会場：子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室

時間	内容
1日型研修の午前 9:00～12:00	【前半講義】対象者：子ども虐待に関わる全ての職種 「性虐待概論」および「多機関連携チーム概論」：性虐待事例への対応策や被害児からの聴き取りに関して、多機関が連携して対応する方法などについて学びます。
2日型研修の1日目 15:00～18:00	
1日型研修の午後 13:00～18:00	【後半講義と実技】対象者：医師、助産師、保健師、看護師等医療者 「診察方法概論」および実技：性虐待被害児の診察方法を講義した後、等身大の幼児のドールを使って診察の実技を学びます。診察の際、子どもにどのように問診するかなど、豊富な資料と質疑を交えて具体的に研修します。
2日型研修の2日目 9:00～15:00 (昼食休憩含む)	
	※児童福祉司、警察官、検察官で参加希望の方もご参加いただけます。

※本研修は、公益社団法人日本小児科医会「子どもの心」相談医研修単位5単位に承認されています。

令和2年度 虐待被害児診察技術研修 開催日程

第1回（2日型）	令和2年7月11日(土)・12日(日)
第2回（1日型）	令和2年9月13日(日)
第3回（1日型）	令和2年11月8日(日)
第4回（2日型）	令和3年1月30日(土)・31日(日)
第5回（2日型）	未定

※ 参加方法には、「前半講義」のみ参加していただくものと、「前半講義と後半講義および実技」を受講していただくものがあります。

※ 講義と実技を受講していただく場合は、1日型（午前9時～午後6時）と、遠方からお越しの受講者様に配慮した2日型（1日目午後3時～2日目午後3時）があります。

※ 出張研修もいたしますので、詳細は事務局にお問い合わせください。

お申込み：参加申込書に必要事項をご記入いただき、FAXでお申込みください。

FAX：0463-90-2716

お問い合わせ：認定NPO法人 チャイルドファーストジャパン（担当：楠本）

〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台1-5-31 2階 B号室

電話：0463-90-2715 / mail：info@cf-j.childfirst.or.jp

----- 参加申込書 -----

◆参加希望日程：

第一希望 _____

第二希望 _____

◆参加方法：ご希望を○で囲んでください。

「前半講義」のみ参加 / 「前半講義と後半講義および実技」に参加

氏名： _____ (ローマ字)；

所属： _____ 職種： _____

連絡先住所： _____

TEL： _____ FAX： _____

mail： _____